

事務事業名		21100 塵芥処理施設運営費	予算科目	会計 一般	款 4	項 2	目 1	所管課	環境課	担当班	クリーンセンター	事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業
施策体系	基本施策	23 良質な環境の保全	根拠法令	廃棄物と清掃に関する法律他									
	施策の展開	42 きれいなまちづくりの推進	戦略事業	204 ごみの収集・処理体制の充実									

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない		
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 昭和 43 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 〇〇 年度～ 平成 〇〇 年度まで	市内より発生するごみ(一般廃棄物)をステーション方式により収集し、旭市クリーンセンターへ搬入している。又、直接搬入による受け入れ業務を行っている。このように集められたごみは、クリーンセンター内の焼却施設や資源化施設・粗大ごみ処理施設で処理し、処理後の焼却灰(燃え殻)などは、旭市グリーンパーク(最終処分場)へ埋め立て、最終処分をしている。これら一般廃棄物(ごみ)の収集・処理・施設の整備を行っている。		
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
旧旭市、海上町、飯岡町、干潟町の構成により塵芥(ごみ)の共同処理を目的に開始された。(合併により、新旭市に移管)	施設の老朽化に伴い、故障の発生と維持費の増加がみられる。ごみ処理広域化による新施設の稼働(平成33年度)まで、維持、運転管理等を行なう。	市民からの、ごみの収集や分別についての問い合わせが寄せられている。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(30年度の決算) 単位:千円	
1. 共済費、賃金	40,588 臨時職員(作業員)賃金ほか
2. 需用費	116,415 指定ごみ袋購入ほか
3. 委託料	169,800 廃棄物収集運搬業務委託ほか
4. 工事請負費	189,435 焼却施設改修工事ほか
5. その他	5,566 グリーンパークの土地借上料及び覆土用の山砂購入他
② 特定財源の内訳(30年度の決算) 単位:千円	
1. 国庫支出金	323 廃棄物処理施設モニタリング事業費補助金
2. 都道府県支出金	0
3. 地方債	0
4. その他	294,424 塵芥処理手数料、リサイクル資源売却収入

事業費	費目内訳	1. 共済費、賃金	千円	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(予算)
		2. 需用費	千円	102,707	94,806	108,953	116,415	130,408
		3. 委託料	千円	159,806	162,204	167,363	169,800	194,757
		4. 工事請負費	千円	158,686	153,840	180,962	189,435	210,563
		5. その他	千円	15,770	9,375	6,629	5,566	10,918
	事業費計(A)		千円	474,753	458,643	502,009	521,804	588,801
	財源	1. 国庫支出金	千円	358	350	330	323	
		2. 都道府県支出金	千円					
		3. 地方債	千円					
		4. その他	千円	288,378	292,139	302,073	294,424	267,718
5. 一般財源		千円	186,017	166,154	199,606	227,057	321,083	

前年度増減理由	施設改修工事費等の増加による
---------	----------------

従事職員数 常時 13 人 最大 〇 人 × 〇 日 = 延べ 〇 人

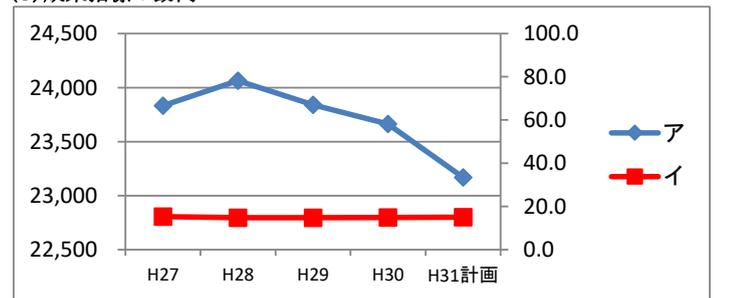
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)		
	30年度実績(30年度に行った主な活動)									
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	対 象 意 図	ア	ごみステーション数	箇所	1,293	1,308	1,320	1,306	1,344
	対 象 意 図	市民・市内事業者(一般廃棄物排出事業者)	ごみ処理量(適正処理の指標)	t	23,832	24,064	23,841	23,663	23,169	
		家庭ごみ等を排出する環境を整え、ごみ処理を適正に処理できる状況とする。	再資源化率(適正処理の指標)	%	15.3	14.8	14.8	14.9	15.0	

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果			
施策貢献度	成果向上余地	評価結果	コスト比率		
	かなりある		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	ある程度ある		①	②	③
大きい		④⑤	⑥	⑦⑧	⑨
普通	⑤			(11)	
小さい					

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難									
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値減=成果向上	<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	比較	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	【コメント】(低下の場合、その理由)			数値増=成果向上	<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	ア	△67	232	△223	△178	△494
③ 今年度取組事項(31年度に取り組みたい主な事項について記載)	時期	内容		今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> その他( )				
	随時	市外からのごみ搬入防止のため搬入車輛の住所確認を実施する。									